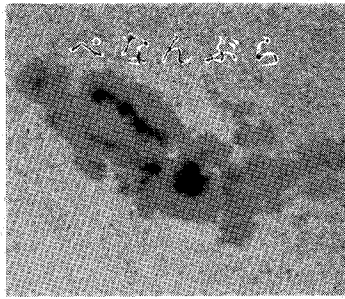


☆恒星系天文学夏の勉強会

通称 SAM の夏の勉強会 (第 5 回) が、7 月 22~25 日の 3 日半、長野県の菅平で約 40 名が集って行われた。22, 23 の両日は恒星系力学を主題として、無数の質点の集団の数学的取扱い方法の検討と、回転流体の平衡形状の物理的概念の検討を両極として、質点系の緩和の機構の理論的研究や、21 cm の電波観測によって得られた星間雲のモデルの研究の議論が行なわれた。討論の中から恒星系力学の発展方向を、プラズマ物理から学ぶ必要とともに、星とガスの共存系として眺める必要が感じられた。

24 日は、主として写真測光の観測者の情報交換を目的として、午前中器械の話 (石田五郎氏) と観測条



件や技術の話 (下保茂氏) を聞き、午後はそれぞれの観測者が経験や技術的試みを発表して、測光精度の問題は 25 日午前に持ち越した。

今年初めから話題になっている将来計画については、22 日夜に理想像としての研究所、24 日夜に望遠鏡と観測テーマについて討論があった。各種の巨大な観測装置を共同利

用するための研究所をつくる第一段階として、シュミット望遠鏡をつくり、survey と patrol に用い特に赤外領域に重点を置いて行くという意見が強かった。この研究会の報告は 9 月に印刷される予定。(蕙)

☆緯度観測所の改築工事はじまる

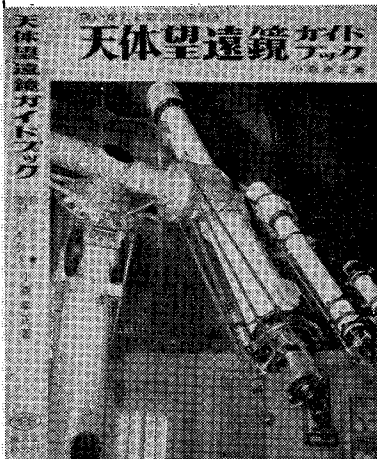
岩手県水沢市にある緯度観測所の建物は大部分老朽化し、また精密測定施設が手ざまとなってきたので改築することに決定し、今年度取あえず実験棟の建設が 8 月より開始された。完成は来年 3 月末の予定。地下室・地上 2 階の測定・実験・電子計算機室およびそれに付随する建物を含んでいる。なお本館の改築は来年度引続いて行なわれる予定である。

天体望遠鏡ガイドブック

〈扱いかたと観測の手引き〉

B 6 判・美麗カバー付
アート口絵 4 ページ・
本文上質紙 304 ページ
定価 650 円・〒 120 円

小森幸正 著



■望遠鏡の基礎知識の勉強には第 1 編を

天体望遠鏡の種類と特徴から、望遠鏡の原理、倍率・分解能・集光力の話や対物レンズの種々の収差、望遠鏡の構造などを解説。

■望遠鏡を十分に活用するには第 2 編を

倍率のきめ方と接眼鏡の選択、経緯台の使い方各種、赤道儀の使い方・目盛環の使い方・据付法、各種アクセサリーの利用法など。

■観測の精度をあげるためには第 3 編を

観測成果を大きく左右するシーイングの話から、観測上の注意、双眼鏡をうまく活用する方法、人工衛星の観測と専用望遠鏡の話。

■新しく望遠鏡を買う人は第 4 編を

天体望遠鏡を選ぶときの注意・性能から・使用目的から、買うときに気をつけること、買ってからすぐ調べてみるどころなど。

いよいよ好評

定価 100 円

誠文堂新光社 東京・神田錦町 1
振替・東京 128

天文ガイド <9 月号> 8 月 5 日発売